

性選別精液の受胎率向上技術

—牛の雌雄産み分け技術—

畜産研究センター

○性選別精液とは

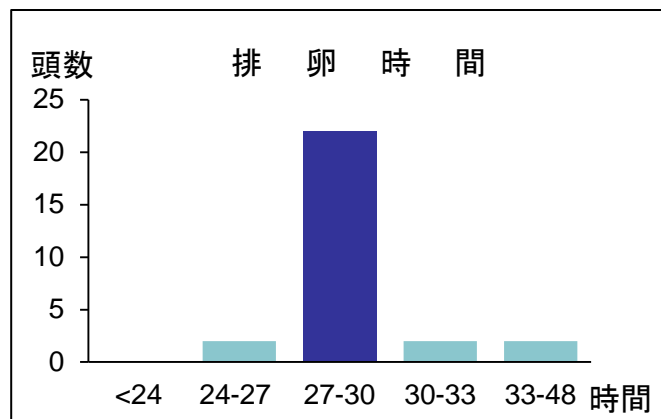
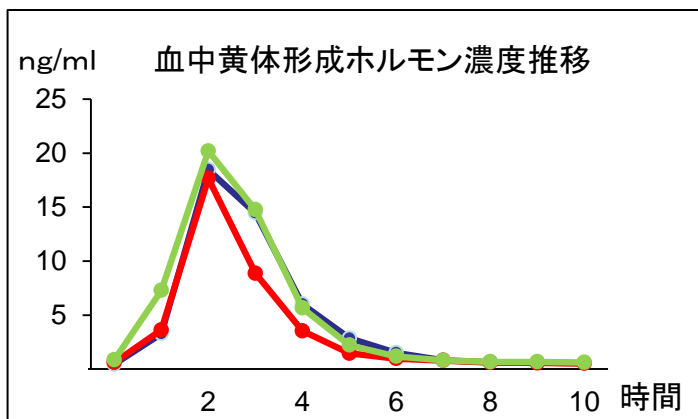
- ・ X精子とY精子に分別された精液で、**雌雄産み分け**が可能
- ・ 通常精液と比べ、**受胎率が低い**（精子活力、精子数で劣る）ため、**未経産牛**を中心として活用

○乳用経産牛に対する性選別精液の受胎率向上技術の検討

より計画的な乳用後継牛確保には、高能力経産牛への活用が必須

排卵同期化処理（ホルモン剤により、排卵時間を集約化する技術）を併用した**受胎率向上技術**を検討

○成果① 排卵同期化処理の効果



血中性ホルモン濃度が一過性に上昇

27～30時間後に排卵が集約化

○成果② 授精適期の検討

人工授精時間	実施頭数	受胎頭数	受胎率(%)
24	10	4	40
27	10	4	40
30	10	2	20

乳用経産牛では、処理実施後24～27時間の人工授精により性選別精液において安定的な受胎性が確保できる